

カリキュラム詳細

日 程	講 義 内 容	
7月中旬 ～ 8月下旬	事前の現場診断および カイゼンテーマ設定	カイゼン・マイスターが実際に受講企業様の現場を訪問し、事前の現場診断とスクール受講にあたってのカイゼンテーマの設定を行います。
9月14日(土) 10:00～17:00	①オリエンテーション ②講義「カイゼンの全体像」	スクール開催にあたってのオリエンテーションとして、事前の現場診断時に設定したカイゼンテーマについて、各受講生より発表を行います。また、カイゼン活動の目的やカイゼンの全体像について、講義を通して学びます。
9月28日(土) 13:00～17:00	①講義「カイゼン活動の進め方」 ②グループワーク	カイゼン活動の基本的な進め方について、講義に加え、事例演習を交えながら学びます。
10月中旬	現場実習	先端的なカイゼン活動を行っている他社の工場を見学し、自社におけるカイゼン活動の参考にします。
10月26日(土) 13:00～17:00	講義「トヨタ生産方式に学ぶ」 「品質改善の考え方・手法」	品質管理や品質保証の必要性を通じて QC7 つ道具の使い方や自工程完結による品質改善の手法について学びます。
11月9日(土) 13:00～17:00	①講義「標準作業の概要」 ②グループワーク	カイゼン活動に必要な「標準作業」について、講義や標準書の作成演習などを通して学びます。
11月23日(土) 13:00～17:00	カイゼンの振り返りと 今後の進め方	スクールの受講期間に実践したカイゼンの取り組みをカイゼン・マイスターとともに振り返り、その反省と今後の進め方について考えます。
12月7日(土) 13:00～17:00	成果発表会	スクール開講時に設定したカイゼンテーマについて、自社の現場における課題解決に向けたカイゼン計画と実施内容を、スクール受講の成果として各受講生より発表を行います。

※日程は一部変更になる場合があります。

SIC カイゼン・スクール 2019

トヨタ式のカイゼンで
生産性アップ!!

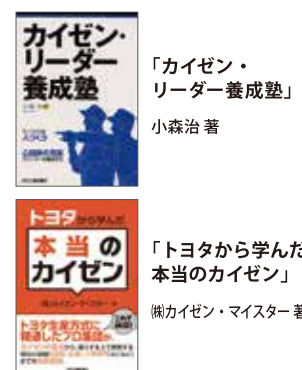


9月14日開講

募集要項 ★相模原市外の企業様も受講できます★

- 【会 期】個別現場診断・ヒアリング・・・7月中旬より順次訪問
令和元年9月14日(土)～12月7日(土)≪7回≫
- 【場 所】さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室、
サン・エールさがみはら 他
- 【対 象 者】現場のカイゼン活動を担うリーダー層の方など(業種不問)
- 【受 講 料】お一人 税別 110,000 円
※現場診断後のキャンセルは受講料の返金ができませんのであらかじめご了承ください。
- 【募 集 人 数】15 名(1社から4名までの参加可) ※先着順
- 【主 催】株式会社さがみはら産業創造センター／株式会社カイゼン・マイスター
- 【後 援】相模原市
- 【協 力】横浜銀行 きらぼし銀行 西武信用金庫 日本政策金融公庫
- 【お問い合わせ】株式会社さがみはら産業創造センター(担当：事業創造部 樽川・大河内)
〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21
Tel 042-770-9119 Fax 042-770-9077
HP <https://www.sic-sagamihara.jp/>

推薦図書



※上記2冊は受講者全員に配布します。

／カイゼンスクールの3大ポイント!!／

POINT 1

経験豊富な講師陣

40年以上の経験と知識を有したトヨタ式カイゼンのエキスパート集団(カイゼン・マイスター)が講師を務めます。

POINT 2

開講前の現場診断

全ての受講生に対して、講師による開講前の現場診断を行うなど、現場での実践に繋がるスクールとなっています。

POINT 3

規模・業種不問のカリキュラム

カイゼンはあるとあらゆる現場で求められるものであり、本スクールも規模・業種不問のカリキュラムとなっています。

スクールの活用事例

スクール受講をきっかけに、カイゼン活動を全社的取り組みへ！

はじめは製造現場の中堅リーダーがカイゼン・スクールを受講。

その後製造部門のメンバー、さらには他部門のメンバーもスクールを受講していくことで、全社的にカイゼン活動が普及・定着し、成果を上げています。



受講者の声

事例1 時間効率15%UP！
生産部担当者

業種	化粧品などの加工、検査及び包装
従業員数	197 名
課題	セル生産工程のムダ取りによる作業時間の短縮
計画策定	現場環境を整え作業の流れを改善することにより、作業前の待ち時間削減を図る計画
計画実行	目標の時間効率 15%UP を達成

事例2 作業時間20%短縮！
生産部リーダー

業種	医療機器などの開発、製造
従業員数	65 名
課題	レイアウト変更による生産効率の向上と作業負担の軽減
計画策定	デッドスペースの有効活用により、作業スペースの確保や工具等の手元化を進め、生産性向上を図る計画
計画実行	1 台当たりの作業時間 20% 短縮

事例3 情報共有・事務ミス防止の仕組み構築
営業担当者

業種	金属表面処理
従業員数	150 名
課題	部門間情報共有の仕組み化による業務効率の向上
計画策定	共有ファイルの活用により、作業時間の短縮を図るとともに、事務ミス防止を図る計画
計画実行	社内メール数 25% 削減に加え、最新情報の共有と事務ミス防止の仕組みづくりに成功

事例4 サービス品質の向上
技術部課長

業種	通信、電気工事
従業員数	8 名
課題	作業データの収集・解析による作業効率の向上
計画策定	毎月日報の集計を行い、現状の解析を実施することで作業時間の短縮やバラツキの低減を図る計画
計画実行	作業時間の短縮に加え、マニュアルの見直しや作業者のスキル向上(サービス品質向上)に寄与

※従業員数や役職は受講時点でのものです。

スクールの流れ

1 まずは課題を明確化することから

カイゼン・スクールは、講師による事前の現場診断・ヒアリングによって、自社の課題と解決の方向性を受講生自身で明確化することから始まります。課題を明確にすることにより、スクールに取り組む目的意識も高まります。



2 活きたカイゼンの考え方と手法を学ぶ

講義では、受講生同士の議論・交流を促すグループワークも取り入れながら、経験豊富な講師陣からカイゼン活動の考え方と手法を学び、設定した課題の解決方法を探ります。

また、現場実習では、他社工場のカイゼン活動を活きた教材として、自社ではどのようにカイゼンに取り組んでいくとよいか、より具体的なヒントが得られます。



3 カイゼン計画の立案・実行へ

設定した課題の解決に向け、スクールを通して学んだ考え方と手法を取り入れたカイゼン計画を立案・実行し、その成果について最終回で発表します。そして、スクール期間中だけでなく、修了後も、それぞれの現場でカイゼンに取り組んでいただきます。



講師 カイゼン・マイスター

これまでの実績	
昨年だけで全国92社へのカイゼン支援を実施！ 累計では450社以上を支援！！	支援先業種事例 (2018年実績)
製造業だけでなく、農業やサービス業など、 様々な業種・現場での支援実績が豊富！！	
	<一次産業> 野菜・きのこ栽培、花き栽培、酪農
	<二次産業> 食品製造、金属部品加工、印刷、製缶
	<三次産業> 通信機販売・リース、クリーニング

本スクールの講師陣は、さまざまな専門分野において40年以上の経験と知識を有したトヨタ式カイゼンのエキスパート集団です。業種や規模を問わず、これまで全国450社以上の中小企業の現場カイゼンの実績があります。本スクールの講義や現場実習では、現場で役に立つ実践的な内容を提供します。



株式会社カイゼン・マイスター 代表取締役 小森 治 氏

トヨタ自動車株式会社出身
元セントラル自動車(現トヨタ自動車東日本株式会社)代表取締役社長
元法政大学大学院客員教授・東京理科大学大学院客員教授・中小企業診断士
専門分野は製造業経営全般